

園だより 12月



おしらせ



6日 (金)	園外保育	20日 (金)	お誕生日会/クリスマス会
9日 (月)	体育指導 (りすぐみ)	27日 (金)	延長保育18時まで
11日 (水)	おもちつき	28日 (土) ~ 正月休み (1/4まで)	
16日 (月)	体育指導 (りすぐみ)		

今月のかつどう



ばんびぐみ

風の冷たさも感じられる季節になり、寒さにも負けずに戸外遊びを楽しんでいます。公園や広場に行き、靴を履いて歩いたり、はいはいしたりと自由に散策を楽しめるようになりました。お友だちと一緒に過ごすことで笑い声もにぎやかになってきました。また、お名前を呼ぶと「はい」とお返事も上手になり、手を挙げて答えてくれます。お名前や身の回りの物に興味をもてるようになってきています。言葉の獲得に向けて絵本の読み聞かせの時間も増やしていきたいと思えます。

うさぎぐみ

過ごしやすい気候になった先月は散歩にたくさん出かけ、少しずつ歩ける距離も長くなってきました。最近では、散歩中に色を見つけながら楽しく歩いています♪今月はお山に出かけたりこども園の園庭まで歩いたり、と、どんどん戸外へ出て元気良く過ごしたいと思えます！
また、子ども同士の関わりも増えてきて、言葉のやり取りを楽しむ姿が見られています。これから発表会に向けてごっこ遊びを楽しんだり楽器にも触れていきたいと思えます♪

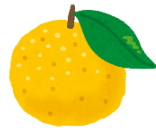
りすぐみ

お天気のいい日にはお散歩に出かけ、ドングリなどの木の实を見つけ大喜びの子どもたち！最近はお山にも出かけることが増え、ゴツゴツした岩の間や細い一本道など色々な道を歩く事に挑戦しています！引き続き12月も色々な所へ出かけていきたいと思っています♪
また、少しずつ発表会に向け歌を唄ったり楽器あそびにも取り組んでいます！タンバリンや鈴など色々な楽器に触れていきたいと思えます！

〈園からのお願い〉

園でのお預かりの時間は「勤務時間+通勤時間」となります。お買い物や習い事の送迎等で、お迎えが遅くなることのないようお願いいたします。

12月21日は冬至です



冬至は北半球において、一年で最も太陽の出ている時間が短く、夜が長くなる日です。冬至の日以降は日照時間が長くなっていくため、「太陽が生まれ変わる日」とも言われているようです。

冬至の風習

・ 柚湯

冬至の風習の一つとして、「柚湯に入る」というものがあります。柚子の収穫時期は11月～12月で、江戸時代頃から冬至に柚湯に入り健康を願ったことが始まりと考えられます。また、別の説では柚子（ゆず）は「融通（ゆうずう）が利く」という語呂合わせから風呂屋が運気を上げるための儀式として始めたとも言われています。言葉遊びから始まったと考えるとおもしろいですね。

・ かぼちゃ

かぼちゃは25℃～30℃の環境で育つ植物のため、本来の旬は夏ですが、かぼちゃが冬至に食べられるようになった理由は、その保存性の良さにあります。昔は現在よりも野菜の保存技術が発達しておらず、いつでも栄養豊富な野菜を食べることが難しい時代でした。かぼちゃは長期保存できる上にビタミン等の栄養を多く含んでおり、栄養が不足する冬至にかぼちゃを食べ厳しい冬を元気に乗り切ろうという考えから、冬至の定番の食べ物となったようです。



もうすぐクリスマス

サンタさんにどんなプレゼントをもらおうかな？と子どもたちはワクワクする季節！！今回はお子さんとも楽しめるクリスマスクッキングをご紹介します！！



まるでツリー！なポテトサラダ

〈作り方〉

①ブロッコリーは小房に分け、沸騰したお湯に塩（分量外）を入れて1～2分茹でる。やわらかくなったらザルにあげて粗熱をとる。

②じゃがいもは皮をむいて一口大に切り、耐熱ボウルに入れてふんわりとラップをして電子レンジで6～7分加熱する。ロースハムは1cm角に切る。

③②を温かいうちにつぶし、ハム、マヨネーズ、塩コショウを加えて混ぜ合わせ、平皿に高さが出るように盛り付ける。

④ブロッコリーを下から順に刺し、手のひらで馴染ませながらツリーの形にする。

⑤型抜きしたにんじん、ハム、スライスチーズなどを飾り、仕上げに粉チーズを振りかけて完成！！



〈材料〉

- ・ブロッコリー 1株
- ・じゃがいも（中） 2個
- ・ロースハム 2枚
- ・マヨネーズ 50g
- ・塩コショウ 各少々

デコレーションの材料

- ゆでにんじん、ロースハム
- スライスチーズなど 適量
- 粉チーズ 適量